



北沢窯

其田 弘輔さん

Topic 01 伝統と日常をつなぐ器づくり

無名異焼（むみょういやき）は、佐渡島の伝統的工芸品として知られ、深みのある赤褐色と鉄分を多く含んだ独特の風合いが魅力です。

その伝統を受け継ぎながら、日々新たな作品づくりに挑んでいるのが、北沢窯の其田さんです。静かな工房で、土と向き合いながら生まれる器たち。その背景にある想いをうかがいました。



Topic 02 考える時間も作品の一部

「日常生活のなかでも、ふとしたときに作品づくりのことを考えている」と其田さん。

どんな形や質感が手になじむか、どんな器ならお酒や料理がもっとおいしく感じられるか…。

「他の人の意見を聞くこともとても大切で、そうした声が自分の人生にも大きな影響を与えています」と語ってくれました。

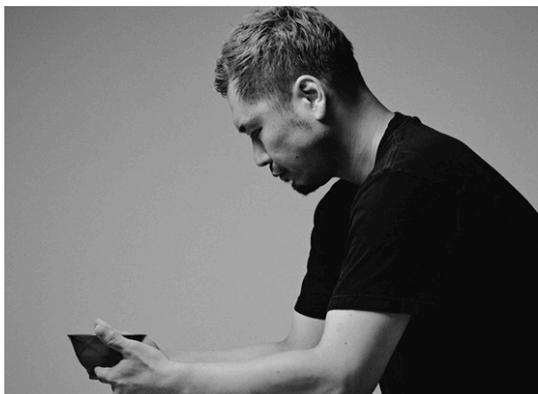
作業台から離れていても、ものづくりへのアンテナは常に立っているのだそうです。

Topic 04 挫折と刺激

「挫折しそうになることは常にあります」と其田さんは言います。先輩職人たちの作品を見ると、自分ももっと頑張らなければと感じることが多いそうです。しかし、その経験もまた、次のチャレンジへの原動力になっています。挫折や悔しさが、新しい創作への刺激となるのです。

Topic 06 高校生へメッセージ

陶芸家って、都会ではなかなか出会えない珍しい仕事です。北沢窯の其田さんは、希少な無名異焼の土を使い、ひとつひとつに熱意を込めて作品を作っています。その制作の裏側や工夫を直接知ってもらうことで、作品の魅力はさらに増します。



Topic 03 「焼き上がった瞬間」の楽しさ

土を練り、形を作り、乾燥させ、釉薬をかけ、そして窯に入れて焼き上げる――。

いくつもの工程を経て完成する焼き物づくりのなかで、其田さんが特に好きなのは「窯出し」の瞬間だといいます。

「窯から出したときに、自分でも予想していなかった表情が現れることがあるんです。それがすごく面白くて、毎回わくわくします」

伝統技法を守りつつも、そこに生まれる偶然の美しさも楽しんでいるのが伝わってきました。

Topic 05 日常と創作の融合

其田さんは、自宅でも自作の器を使い、暮らしの中で作品の魅力を実感しています。指輪作りや箸づくりなど、焼き物以外の挑戦も日常に取り入れ、創作の幅を広げています。

休日には、動画配信サービスでリラックスしながらも、地元レストランのシェフや鼓童などと交流し、異分野で作品を活かすアイデアを探ります。最近では、無名異焼で風鈴やランプシェードを制作し、店舗のライトアップに合わせた作品づくりにも挑戦しています。

投票は公式LINEから



北沢窯のHP

